

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

PEM + Pembrolizumab 療法

3 週毎 コース予定

疾患名 非小細胞肺癌

主治医 指導医 HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200 mg/body	↓
ペムトレキセド	500 mg/m ²	↓

【注意】*他剤使用時はペムブロリズマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

*ペムブロリズマブ投与時はインラインフィルター(0.2 または 0.22 μm)を通して投与すること。

*ペムトレキセド投与の 7 日以上前よりパンピタン末を 1 g 分 1 で内服開始。^{注1}

*ペムトレキセド投与の 7 日以上前より

メチコパール注 500 μg 2A(1 mg)を筋注(以後 9 週間毎)。^{注2}

注 1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から 22 日目まで可能な限り投与する。

注 2:投与期間中及び投与中止後 22 日目まで 9 週ごと(3 コースごと)に 1 回投与する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

- | | |
|--------------------------------------|----------------------|
| ① 生食 500 mL で血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② キイトルーダ 200 mg + 生食 50 mL | 点滴静注 30 分(100 mL/時間) |
| (希釈後最終濃度が 1~10 mg/mL となるよう生食液量を調節する) | |
| ◎メインの生食でフラッシュ | |
| ③ デキサメタゾン 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ◎メインの生食でフラッシュ | |
| ④ ペムトレキセド + 生食 100 mL | 点滴静注 10 分(600 mL/時間) |
| ◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ | |

PEM + Pembrolizumab 療法

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペムトレキシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペムトレキシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペムトレキシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						

	コース	コース	コース	コース	コース	コース
月 日	/	/	/	/	/	/
キイトルーダ 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
ペムトレキシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確 認						